

特集

2024年4月より鳥取大学医学部地域医療学講座に着任し、総合診療専門医でおられる大塚裕真特命助教。今回は、総合診療医についてお話を伺いました。

総合診療医とは？

何でも見てもらえる身近なかかりつけ医をイメージしてもらうと分かりやすいです。特定の領域だけを見るのではなく多数の領域をまたがりながら、診断や治療はもちろん、いろいろな健康問題（風邪を引いた等）や、生活背景による困ったことなど何でも相談できる医師です。

活躍の場は病院であったり、地域の診療所であったりと様々です。社会的な問題も含めバリエーション多く患者さんと接することができるのが総合診療医の良さです。

なぜ、鳥取県で総合診療医を目指そうと思ったのですか？

小さい頃から鳥取で育ち、周りの人のお世話になってきました。鳥取大学在籍時にも地域医療研究部（ちいけん）に所属していて、そんなお世話になった地域の方々に対して何かをやりたいという気持ちがきっかけです。

また、自分より下の代の学生さんが、鳥取で地域医療や総合診療をしたいと思ったときに、受け入れられる場を提供してあげたい、鳥取県でもそういった地域医療の拠点を創りたいという気持ちから目指しました。

鳥取大学地域医療学講座について

そもそも鳥取県は、中山間地域で医療が乏しいこともあり、“地域のかかりつけ医”として総合診療医の力が必要になります。鳥取大学の地域医療学講座は、

鳥取県で総合診療医を目指す

学生に対して地域と接する実習がかなり豊富です。

地域の方々と学生とを結びつけながら、学生自身が体験したことを言語化して伝えられる能力を鍛えられるところが鳥大の強みです。

医師といえば専門医というイメージが強く、最初はどうもギャップを捉えきれない学生さんもありますが、実際に体験してみると地域で働く大事さや楽しさを再認識してもらえるカリキュラムを組んでいます。

これから医師を目指す学生へのメッセージ

総合診療医は働き方のバリエーションが広く、汎用性が高いので、やりがいを持ちながら仕事に取り組めます。一人でやっていけば悩むこともあるかと思いますが、心配せずに一歩踏み出してほしいです。

鳥取県全域で医療のニーズが高まっているなか、若い人たちにはぜひ鳥取県に残って一緒にチームを組んで、やっていければと思っています。

自分で働き方に融通がきくので、ワークライフバランス的にもメリットがあるかと思います。総合診療医は働いていて楽しい、皆さんが思っている以上にやりにくさはないということが伝わればと思います。地域は皆さんを待っています！



授業風景

大学入門ゼミ（医学科1年生）

各学科1年生の必修科目「大学入門ゼミ」。医学科では、学生同士の親睦を図り、協調性や計画性を養うことを目的として開講されています。課題内容として学生が7つのグループに分かれ、テーマに沿って

動画を企画・作成・編集し、教員や学生同士で評価をしています。

作成した動画の中から、最優秀賞のグループにはトロフィーおよび記念品が贈呈されました。



最優秀賞のグループ
ヘトロフィーの贈呈

各グループ代表を前に
全員で記念撮影



医学部での研究

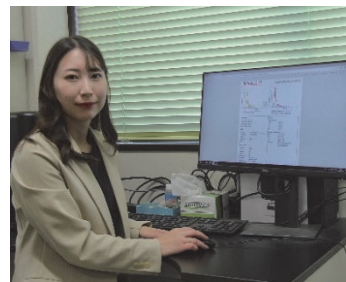
がん死の直接要因となる“転移”を克服する

がん患者の死因の多くは遠隔転移によるものであり、肝臓は最も転移しやすい臓器とされています。しかしながら、肝転移の予防法は現時点で確立されておらず、その詳細なメカニズムの解明が求められています。

実験病理学分野では、がん細胞の肝血管内皮細胞への接着、つまり「転移の第一段階」を規定する分子として細胞接着分子Amphoterin-induced gene and open reading frame2 (AMIGO2)を明らかにしました。そのメカニズムとして、がん細胞におけるAMIGO2の発現量を増加させると肝類洞内皮細胞との接着が促進される一方で、AMIGO2の発現を抑制させると肝転移が抑制されることが分かりました。

近年、細胞が分泌する小さな粒子エクソソームが、転移の促進に関わることが多く報告されています。我々の研究では、エクソソームにはAMIGO2が豊富に含まれ、肝転移を促すための臓器環境の改変にAMIGO2包含エクソソームが直接的に関わることを見出しています。

今後は、新たな肝転移予防法の確立を目指して研究を進めていきたいです。



生命科学科 実験病理学分野

井筒 瑠奈 助教

詳しい研究情報は

こちらをチェック



学内イベント

オープンキャンパス2024を開催!

7月27日(土)、米子キャンパスにてオープンキャンパスを開催し、県内外から総勢999名(高校生523名、保護者476名)の皆様にご参加いただきました。

医学部キャンパスでは、医学科・生命科学科・保健学科それぞれでイベント・プログラムを開催し、大盛況のうちに終えることができました。参加された方からは、「参加して本当に良かった。」「先輩の言葉が胸に響いた。」「勉強のモチベーションがあがった。」「ぜひ鳥取大学医学部を受験してみたいと思った。」などの感想をいただきました。



申込開始からすぐに満員になるほどの人気ぶり。模擬講義や内視鏡等の体験、在学生による学生生活案内にご参加いただきました。

医学科



生命科学科



研究室での実験の見学や、在学生との懇談会に参加いただきました。懇談会では、大学生の生活の様子をメインに質問されていました。

保健学科



医学部最多の588名が参加。エコー検査や採血体験、VR看護体験など自分が体験してみたいものを選んでご参加いただきました。

サークル紹介

アトリエ自由ノート

部員数

男子 29名
女子 28名



活動内容

美術に関するもの全般。ペンタブや画材、漫画など部室にあるものは何でも利用できます。

活動日・活動場所

サークル棟1階。
活動日は、特に決まっていません。好きな時に来て好きな時に帰ります。



サークル自慢

型にはまらない自由な部活です!活動が強制されていないところが大きな魅力だと思います。もちろんやりたいことがあれば思う存分できます!

イベント情報

錦祭で雑貨の販売をします。フェルトのマスコットやハーバリウム、アロマキャンドルなどを手作りして販売する予定です。3月は米子市立図書館で絵画作品を展示予定です。

